

# カゲロウの仲間

カゲロウの仲間の幼虫は、①肢(あし)が6本ある、②翅包(しほう：成虫になって翅-はね-になるところ)がある、③腹部側面にエラがある、などの特徴がある。成虫は右の写真のように、翅を垂直に立てるのが特徴。

ミヤマタニガワカゲロウの幼虫(左上)  
羽化中のクシゲマダラカゲロウ(左下)、モンカゲロウの成虫(右)



魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ

## アカマダラカゲロウ

*Uracanthella rufa*

マダラカゲロウ科

### 形態的特徴

**幼虫の特徴：**体長6mmと小さい。短い毛が密生した尾が3本で体長より短い。エラが葉状で、体がずんぐりしている。  
**成虫の特徴：**体長7mm。成虫オスの複眼はオレンジ色。  
**類似種と見分け方：**他のマダラカゲロウ科。アカマダラカゲロウの腹背には刺列が無く、背面に3本の淡色条がある。

### 生息環境・分布

平瀬の石の隙間、瀬の脇に沈んだ落ち葉の中。  
**分布：**国外分布は、朝鮮半島・ロシア極東部。国内分布は、沖縄を除く日本全土。北海道内では、普通に分布。十勝地方では、普通に分布。

### 食性・他の生物との関わり

藻類・落ち葉を餌とする。  
魚類などの餌となる。

### 繁殖生態・寿命

藻卵塊を腹端に生み出したメスが水面に降下して、卵塊を落とす。一年二化(2回発生)する。

### 興味深い話

■カゲロウ目は水中から羽化(亜成虫)してからもう一度脱皮して本当の成虫になる。亜成虫は成虫とほぼ同じ形だが、翅が成虫より厚ぼったく、曇っているものが多い。  
■オスは群れをなして水上を飛び、メスが誘われて交尾する。

### 名前の由来

アカは成虫の体が赤褐色であるためである。マダラは幼虫期に斑文があるためと思われる。カゲロウは成虫での寿命が短いため、はかなく消える陽炎になぞらえたと言われている。漢字名：赤斑蜉蝣



(上) アカマダラカゲロウ (幼虫)



(下) アカマダラカゲロウ (成虫)

(両写真とも撮影:宮下 力)

### 配慮事項

平瀬・落ち葉溜りを必要とする。

### 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
卵期・幼虫期	■											
成虫期						■						

### 参考文献

「フライフィッシャーのための水生昆虫小宇宙Part I」 刈田敏 つり人社 2000  
「アングラーのための水生昆虫フィールドノート」 宮下力 出版文化社 2000

「日本産水生昆虫検索図説」 川合禎次 東海大学出版会 1995  
「日本動物大百科昆虫 I」 日高敏隆 平凡社 1996  
「水生昆虫アルバム」 島崎憲司郎 フライの雑誌社 1998  
「水生昆虫の世界一流水の生態」 大串龍一 東海大学出版会 1981